

第2回 NPOエコデザイン推進機構(EcoDeNet)公開ワークショップ

資源・環境と材料技術を考えるフォーラム(1) 内容に変更が出ています。ご確認下さい！！

■場所:東京大学工学部 11号館 1階講堂

http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_12_j.html

会場は東大正門を左に向かった直ぐの建物(下にスターバックス有り)

■日時 2009年10月19日(月):14時30分より受付開始

15:00~開始(挨拶・開催趣旨説明:NPOエコデザイン推進機構)

15:10~”自動車用リチウムイオン電池の開発状況(仮題)”

オートモーティブエナジーサプライ(株)エグゼクティブエキスパート兼 NEC環境エネルギー事業推進室
エグゼクティブチーフエンジニア 内海 和明様

【プロフィール】1971年 3月 早稲田大学大学院理工学研究科修了(修士)

1971年 4月 日本電気(株)入社 中央研究所勤務、

1998年 7月 同社 機能材料研究所長

2002年 5月 NECラミリオンエナジー(株)代表取締役社長

2008年 4月 オートモーティブエナジーサプライ(株)エグゼクティブチーフエンジニア

2008年11月 オートモーティブエナジーサプライ(株)エグゼクティブエキスパート

兼 NEC経営企画部 エグゼクティブエキスパート

2009年 4月 現職

専門分野 応用化学、無機化学、電気化学、電子セラミックス、二次電池

主な研究テーマ セラミック誘電体・絶縁材料の研究開発、リチウムイオン二次電池の研究開発

受賞歴 米国セラミックス協会 フルラス記念賞、粉末冶金協会 武井賞、日本セラミックス協会技術賞

NEDO 技術委員、IEC TC 21/SC 21A/TC69 Convener

15:50~”素材産業のものづくり”:

株式会社クレハ 代表取締役社長 岩崎 隆夫 様

【プロフィール】生年月 1947年12月16日 宮城県仙台市出身

1971年 3月 東北大学工学部 応用化学科 卒業、

1971年 4月 呉羽化学工業株式会社(現株式会社クレハ)入社

1979年 7月 (英国)ブリストル大学留学 客員研究員

1980年10月 錦研究所(現総合研究所)研究員 (PPS樹脂開発において基本特許取得)

1990年 7月 工学博士 学位取得(東北大学)

1992年 7月 錦研究所(現総合研究所)合成樹脂・炭素材料研究室長

(リチウムイオン電池材特許取得)

1996年 2月 クレハ・ケミカル・シンガポール社出向(建設プロジェクトマネジャー)

1998年 5月 (米国)フォートロン・インダストリーズ社出向(副社長)

2006年 4月 取締役研究開発本部副本部長 兼、総合研究所長

2007年 4月 代表取締役社長就任

16:30~”化学物質規制の現状と対応”:

富士通株式会社 環境本部 ストラテジーエキスパート 古賀 剛志様

【概要】欧州に於けるREACH規制が本格的に動き始め、我が国の企業もその対応に向けて動き出しています。JAMPIは、その活動を支援するコンソーシアムとして組織されました。講師は、発足時からその代表を務められ、当NPOエコデザイン推進機構も発足時から理事として活躍しています。今回は、JAMPの活動

に留まらず、世界的な化学物質規制について総括し、我が国の今後の対応について重要な視点を解説致します。

【プロフィール】氏名:古賀 剛志 (Koga Takeshi)

生年月日:1944年8月2日 所属:富士通株式会社 役職:環境本部 ストラテジー エキスパート

会社連絡先:〒211-8588 川崎市中原区上小田中4-1-1

TEL 044-754-3413 FAX 044-754-3326 E-mail koga.t@jp.fujitsu.com

1968年慶應義塾大学工学部機械工学科卒、同年富士通株式会社 入社。

情報処理事業推進本部 技術管理部長、環境技術推進センター長、環境本部長を経て、2004年より現職。1999年環境経営の先駆けとなる環境会計を発表。富士通において、その総指揮を取り、企業活動と環境を結びつけた環境経営を推進。環境会計や環境経営に関する講演を多数実施。特に、企業の説明責任(アカウンタビリティ)の必要性を社会にむけて発信。

所属団体:

- ・社団法人 産業環境管理協会 日本環境効率フォーラム 副会長、同フォーラム運営委員会委員長
- ・社団法人 電子情報技術産業協会 IEC/TC111 国内委員会 副委員長、同国内運営委員会委員長
- ・社団法人 産業環境管理協会 エコプロダクツ2005 企画委員会 委員長
- ・財団法人 日本適合性認定協会 環境認定委員会 副委員長
- ・電機・電子5団体 温暖化連絡会 広報WG 主査
- ・国際連合 環境管理会計プロジェクト 常任メンバー
- ・財団法人 日欧産業協力センター 日欧ラウンドテーブル(EJBDRT)提言WP常任メンバー
- ・NPO エコデザイン推進機構 理事
- ・エコデザイン学会連合 運営委員会 委員、同広報委員会 委員長
- ・社団法人 日本経済団体連合会 環境・安全委員会 委員
- ・社団法人 電子情報技術産業協会 環境・安全総合委員会委員、同環境戦略プロジェクト会議副委員長
- ・経済産業省/電機・電子5団体 環境・リサイクル検討委員会 委員
- ・財団法人 製造科学技術センター グローバル循環システム調査委員会 幹事
- ・財団法人 国際緑化推進センター国民参加森づくり委員会委員、同民間植林ネットワーク構築部会委員
- ・環境パートナーシップ・CLUB(EPOC) 幹事、同標準化部会 副部会長

17:20～総合Q&A

18:00～交流会

- 参加費: NPOエコデザイン推進機構会員:資料代として1千円、学生:無料
一般:3千円(当日に特別入会を受け付けます(年会費5千円、入会金無し))

- 参加申し込み:下記を記入の上、forum.seminar@ecodenet.com まで、E-Mailで。

ご氏名:

ご所属:

交流会(実費:3000円程度を予定)への参加希望(有り・無し)

エコデザイン推進機構への当日ご入会のご希望の有無(有り・無し)

=====

- ご参考:NPOエコデザイン推進機構は、環境調和問題に関わる、国際シンポジウムである、EcoDesign International Symposium の主催団体であるエコデザイン学会連合の事務局機能を果たすべく、設立したNPO法人です。

その設立の趣旨は、(<http://www.ecodenet.com>)にも記載した通り、世界的な環境調和問題を解決する為の研究と教育普及を推進するのを目的とします。

現在、会員は、製造業、大学、国立研究機関の方を中心に編成されていますが、仕事のジャンルを問わず環境調和に積極的に取り組もうという方々を積極的に求めています。過去の公開研究会、WS、シンポジウムもHPをご参照頂ければと思います。

以上